

鵜沼自治連だより

発行/鵜沼地区町内会自治会連合会
発行人/石井 博之
事務局/鵜沼海岸 2 丁目 10-34
鵜沼市民センター内
TEL.33-2001・FAX33-2203

鵜沼自治連は鵜沼地区の町内会・自治会のつながりです

防災を核として地域生活の向上を図っています

基本理念「連帯と強調」を基に

2025年新体制で臨む鵜沼自治連

鵜沼地区町内会自治会連合

会長 石井 博之



今期は改選期であり、副会長には原口防災統括部長と岩崎会計が兼務の形で新たに加わり 4 名体制としました。副会長増強は、将来を見据えた若い人材による活性化と、地区内外の会議や活動が増え手分け分担の対応が生じたためです。

昨年度は会長が兼務した総務部長には、新進気鋭の山口 隆副部長に交代してもらいました。執行部では退任 2 名の代わりの新戦力、服部 洋之さんにはデジタル化の推進を、金子 隆さんには市民センターまつり・視察研修の担当をお願いし活躍が期待される所です。

この体制で2025年度総会の承認を得ました。

成り手不足・担い手不足の中、新執行部全員が存分に力を発揮されることを期待しています。

新役員紹介

副会長 原口 忠男

防災統括部長兼務 五友会



鵜沼地区は市内14地区で最も人口が多く、自治連の活動は市民の生活に大きな影響を及ぼします。町内会自治会間の強固な連帯と協調が良好な地域社会構築の推進力になると考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

副会長 岩崎 康成

会計兼務 一木会



風光明媚な鵜沼に生まれ育ち、湘南の地の変遷を見て来ました。どんなに景観が変わろうと、暮らしの根幹は郷土愛と人の絆。全国的に自治会町内会が減少する今、若い世代をも巻き込んだ発展の手伝いができればと思っています。

総務部長 山口 隆

堀川郷友会



このたび新年度の総務部長を務める事になりました。堀川郷友会の山口隆です。不馴れな点も多く、至らぬところがあるかと存じますが、会員や役員の皆様に、ご指導とご協力を頂きながら務めてまいります。地域の皆様のお役に立てるよう努力しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事業部副部長 金子 隆

松風会



このたび初めて役員になりました松風会の金子です。地域をもっと良くしたいという想いのもと、これまでまちづくりや人づくりに携わってきた経験を少しでも活かせるように努めますので、よろしくお願いいたします。

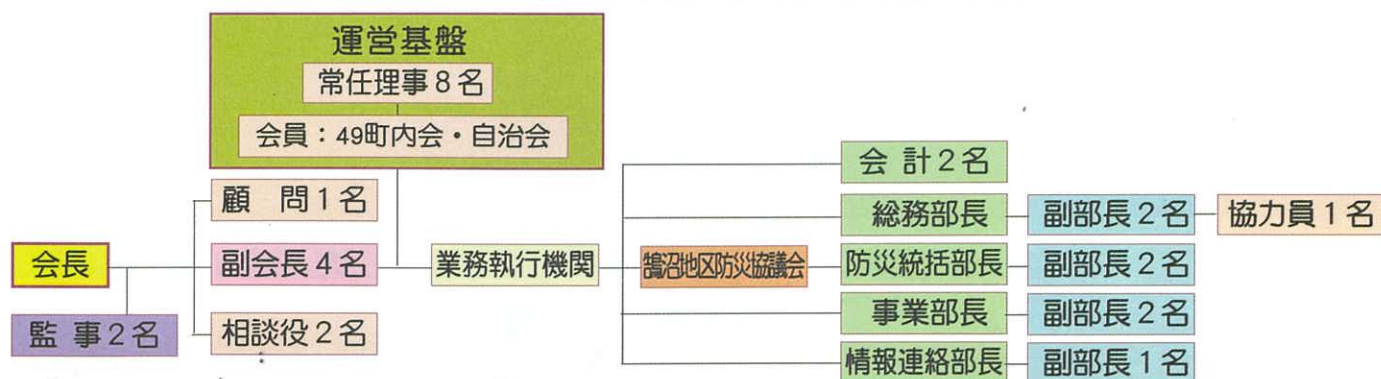
総務部副部長 服部 洋之

東鵜睦会



東鵜睦会で副会長及び防災役員を担当しております服部です。2021年秋に鵜沼に移住して来た「よそ者」です。敢えて外の目を活かし、かつ「自分事化」できるような仕組みを発想して、ここ鵜沼地区の存続・活性に対し貢献できればと考えております。

鵠沼地区自治連組織図



よろしくお願いします 新会長さん紹介

ひさご会 小禄 良祐会長

ひさご会は小さな町内会ながらも幅広い年齢層のご家庭が軒を連ねています。コミュニケーションを大切に、皆さんが安心して暮らせる地域を目指したいと考えております。

柳小路町内会 佐藤 利朗会長



昨今凶悪な犯罪が増えています。柳小路町内会は防犯意識を高める為月1回(土)PMの防犯パトロールを行っています。街歩きも含めてコミュニケーションを取りながら町内会を盛り上げて行きたいと思っております。

松浪会 高木 三明会長



自治会の活動で大事なことは、会員の皆様に活動内容を良く理解して頂くことかと考えます。今年度の活動では回覧、掲示板以外にホームページ、LINEなどのツールにより、活動内容の理解に努めます。

清水町内会 浅場 勝美会長

清水町内会は鵠沼地区の中でも小さな町内会です。“遠くの親戚より近くの他人”をモットーにレクリエーション・イベント・お祭りを通して横の繋がり、絆を深めていきたいと思っています。

原町内会 今福 要二郎会長



町内会の活動はこれまで10年程経験してきました。価値観の多様化など時代の変化に対応し、原町内会のビジョンである「隣近所の顔が見える魅力的な活動」ができるように町内の皆さまと共に活動出来たらと思います。

新樹会 上田 真木子会長



子どもたちが増え、安心して過ごしてもらうためにあいさつがしっかりできる町づくりを目指します。

藤沢東急ドエル・フェニックス自治会 矢内 美樹会長

地域の人々が安心して穏やかに自分らしく過ごせるといいなと思っています。そのために自治会はあると思うのですが、無理なく継続していくためには課題もありそうだと感じるこの頃です。

松風会 得能 豊子会長



昨今、国家が何か不安な状態になって来てると思うのは私だけ？久しぶりの自治会長、80歳の私は何出来る？自分が育まれ暮らしている場所を自分の立場から考え始める。地域の歴史や文化、風土を大事にして活動したい。

桜小路睦会 新井 紳一会長



「安心・安全・楽しい街づくり」をスローガンに、定例の蓮池地域防災訓練、ハロウィン等の重点事業を進めます。また情報発信の強化を目的にホームページを開設します。これらを通じて活気溢れる町内会を目指します。

鵠沼海岸二丁目自治会 日下部 亘男会長



2丁目に住んで良かったと思われる町作りを目指しています。自治会役員又交流部の方に支えてもらいながら住みよい町にしたいと思っています。自治会では防災部も委員会を立ち上げて活動しています。

上村町内会 佐藤 正彦会長



伝統的な行事の継承等いろいろありますが、永年諸先輩方が築き上げてきた信頼を壊さない様、各種の事業活動を通して役員一同、安全で住みやすい町づくりに努力したいと思っております。

よつば会 高塚 浩美会長

「よつば会」は八部公園の南側に位置する会員世帯300弱の町内会です。今年度は会の皆さんへの情報発信に力を入れています。町内会周辺の交通事故・犯罪の発生状況や災害への備えなど基本かつ大切なテーマを発信しています。

ライオンズマンション藤沢鶴沼自治会 西川 敏子会長

今回、自治会長になり、歴代の方々の大変さを痛感しています。今年は、地域活動（防災訓練、海岸清掃など）を通じて、地域の方々と顔の見えるつながりが出来ればと思っています。

藤沢ビレジ2号棟自治会 尾関 好四郎会長

最近は居住者同士の繋がりも薄れて来ておりますので、本年はコロナ禍で中止しておりましたが、防災訓練を実施して防災・防犯意識と居住者同士の共助・繋がりを少しでも高められたらと思います。

地域団体合同会議状況報告

第3回合同会議 5月17日開催

地域団体の年間計画と主だった事業について 各団体から今年度の年間計画と事業活動を発表していただきました。当会議体の目的の一つが横の繋がりで、活動内容を知ることは、お互いを理解する上で欠かせません。

●自治会町内会からの要望の伝達について

各地域団体が発行する印刷物の配布について、複数の町内会・自治会から要望が出されています。これまで全戸配布を委託してきた業者から契約解除され、今まで通りに配布することが困難になり、回覧板などで負担軽減ができないかとの申出です。事情を鑑み、検討して頂くようお願いいたしました。

●小学校全学年一斉下校の際の児童見守りについて

ふれあいトライアングル（渡辺会長）の提案では、小学校の先生方は年間に5回一同に会した研究会が開催され、その際は全学年の生徒が一斉に下校することになります。狭い道路は生徒で溢れ交通事故の心配や防犯面から、児童の見守りが必要になります。当会議の出席者は子育て事業に係わる方もおられ、多くの賛同が得られました。（6月13日実施）

今後の全校一斉下校は10月9日（木）、11月25日（火）、1月30日（金）の3回行われる予定です。是非、皆さまの見守り活動へのご協力よろしくお願いいたします。

●その他

交通安全対策協議会（山口会長）より、自転車に乗る際の交通法規の遵守と交通マナーの徹底についての呼びかけがありました。ヘルメットの着用については努力義務となっていますが、安全面を考慮し着用を検討するようにと要望がありました。

第4回合同会議 8月27日開催

●各地域団体の防災対応について

市民センター長より7月30日の津波警報発令時での市の初動対応等についての報告

初期対応 ・防災行政無線で津波警報を知り、2号配備の体制を取った。・市民センター利用者に対して速

やかに津波浸水エリア外への避難指示を行う。

・防災拠点本部を鶴洋小学校に移動する。・市民センター職員4名を残し、情報収集・避難指示等の対応に当たる。



市民センター長からの報告

課題 ・市の対策拠点本部の即座な対応。・鶴洋小学校には十分なスペースやパソコン等の設備が無く指揮がとりづらい。

各団体の発表

地区社協ボランティアセンター運営委員会（望月事務局長）マニュアルの作成、受入れスタッフの養成等を行っています。まずは委員会の活動を広く知って頂く事が重要だと思っています。

生活環境（森井会長）災害ゴミの始末はあらかじめエリアごとに想定し、地図上に配置して置くことが重要になります。

防犯協会（山口会長）避難所の見回り、青パト巡回、子供たちに対するケア、防犯意識の啓発、不審者等の情報を警察と共有、空家の見回り等を行う。

KFP鶴沼おやじパトロール隊（小林会長）災害時にはその場で出来ることを考えて行動したい。災害警報が出た際に緊急時だと言い商店街を逆走する車があった。災害時は交通に関して、特段の注意が必要となると考えます。

まとめ

市民センター長は津波警報を防災行政無線（気象庁が発するアラート）で知りました。市の災害対策拠点本部や地域災害拠点本部はそれから立ち上がることとなりますが、時間が生ずるためにその間は自分で身を守るしかありません。過去の災害では、発災時にコミュニティの力が大いに役立ったと聞いています。個人の力は微力で、危険を伴うこともあり大したことは出来ませんが、町内会・自治会、地域団体が纏まれば力になることは可能です。

7月30日の津波警報発令から学ぶもの

7月30日朝8時25分頃にカムチャッカ半島付近で発生したM8.7の海溝型地震の津波は多くの課題を私達に与えてくれました。国外で発生した津波は「遠地津波」と呼ばれ到達までに時間が掛かる為に油断を招きやすく、地形などの影響で反射を繰り返し長時間に渡って続き、より高い津波が到達する可能性があります。その為に今回は津波注意報の解除までに時間が掛かりました。

揺れの無い遠地津波では車での避難が多く、交通渋滞が発生させば麻痺状態になってしまいました。国は車での避難は渋滞により、津波に巻き込まれる可能性があるため、徒歩避難を原則としています。やむを得ない場合に付いては各地で合意形成を図るよう求めています。また踏切の遮断状態が続き交通渋滞に拍車をかけました。電車の運

休により帰宅時間帯にはバスやタクシー乗り場は大混雑になり、午後6時30分に津波注意報に切り替わり電車が復旧する9時過ぎまで続きました。学校が夏休み中でなければ生徒の帰宅、引き取りはどうなっていたでしょうか。また津波警報発令時には、浸水区域内の避難所は開設されないにも関わらず多くの方が避難をしているなどの課題が提示されました。

普段から全戸配布されている「ふじさわ防災ナビ」に常に目を通し、災害の状況に応じた対応が出来る重要性を痛感いたしました。



【再確認】津波警報発令時の行動について

● まずは、逃げること：「津波てんでんこ」

津波が来ない**浸水区域外**へ逃げましょう。

津波避難マップ、津波ハザードマップ等で**津波浸水区域**を確認しましょう。

● 浸水区域外への避難が間に合わない場合は近くの高いところ（避難ビルや高台）へ

《津波警報時の注意》

浸水区域内の「鵠南小・太陽の家・なぎさ荘」は津波避難ビルですが、津波警報時には、浸水区域内のため、「避難所」の開設・運営はありません。また、「鵠沼市民センター」は避難先として利用できませんのでご注意ください。

● 防災グッズを持っていきましょう！

避難所に支援物資はありません。普段から飲料水や非常食等を用意して持ち出しましょう。

今回は熱中症対策の給水や退避中の食事に苦慮したとの声がありました。

チェック

○ 津波警報発令時に開設する避難所（鵠沼地区）

①鵠沼小学校 ②鵠沼中学校(注1) ③市民会館 ④鵠沼高校(注2) ⑤湘南学園 ⑥鵠洋小学校

注1：建替えにより収容人数、避難経路が変わることがあります。

注2：建替えにより使用出来ない期間があります。

○ 平時から避難場所・経路・方法・所要時間を検討しておきましょう。

津波避難マップ、津波ハザードマップ等で「津波避難ビル」や近くの高台などを確認し、避難先について町内会・自治会と相談しておきましょう。また、ペットと同行避難が可能な避難場所をチェックしておきましょう。

平時から、津波到達予測時間別に避難場所、経路、方法を検討し、安全・確実に逃げられるようにしましょう。

(車両による避難は渋滞のリスクが高いことが今回も実証されました。車による避難は控えましょう。)

外出先の避難場所等の確認も含め、家族で避難先、経路、手段を検討し、身の安全を確保しましょう。

あ と が き

多くの課題を示してくれた今回の津波避難警報発令、南海トラフ地震、首都直下地震の発生が迫る中、一刻も早く地域の総合力を持った対策が望まれる。まずは鵠沼地区総合防災訓練に参加しよう！

鵠沼地区総合防災訓練開催

2025年11月15日(土) 10時～

鵠南小学校にて